

BUND（ドイツ環境自然保護連盟／FoE ドイツ）来日セミナー

脱原発・脱石炭・エネルギーシフト と市民参加



ドイツ最大の環境団体のひとつ、BUND（ドイツ環境自然保護連盟、FoE ドイツ）の代表
フーベルト・ヴァイガー氏らが来日します。

ドイツの原発・エネルギー問題の最前線について報告し、日本の状況とも比較しながら意
見交換します。ぜひご参加ください。

【日時】2018年3月27日（火）17：00～19：30

【場所】衆議院第二議員会館（1F）多目的会議室

永田町駅、国会議事堂前駅より徒歩約5分

【プログラム（予定）】

1. ドイツの脱原発と放射性廃棄物の最終処分場問題

・2013年から2016年まで開催された「最終処分場委員会」。FoEドイツからも委員が参加していまし
た。現在の議論とは、市民参加の状況とは。

・2022年の脱原発を決めたドイツ。現在稼働する7基の今後、廃炉の現状とは。

2. パリ協定を受けて：脱石炭火力の今後

・2000年代に、脱原発と同様各地で石炭火力発電所の建設に反対する
市民運動が、多数の新規計画をストップ。

・しかし、依然として約40%を占める石炭火力依存、今後のゆくえは。

3. 「エネルギーを市民の手に」ドイツのエネルギーシフト

・市民・地域主導のエネルギーシフトの現状について。

・再エネ100%供給する電力会社の現状。



スピーカー：

フーベルト・ヴァイガー（BUND／FoE ドイツ代表理事）

リヒャルト・メルクナー（BUND／FoE ドイツ・バイエルン州支部理事）

マルティン・ガイルフーフエ（BUND／FoE ドイツ・バイエルン州支部）

福澤啓臣（元ベルリン自由大学准教授）

コーディネート：満田夏花（FoE Japan）、吉田明子（FoE Japan）



【主催】FoE Japan

【協力】フリードリヒ・エーベルト財団

【資料代】500円（FoE Japan サポーターは無料）

【申込】FoE Japan ウェブサイト（www.foejapan.org）より
お申し込みください。

【問合せ】info@foejapan.org 03-6909-5983（吉田）

FRIEDRICH
EBERT
STIFTUNG

